
春男の頭の中 8

てるり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

春男の頭の中 8

【Nコード】

N5561A

【作者名】

てるり

【あらすじ】

春男と一緒にアイスクリームを食べることになったが、店には女の子ばかりで・・・自分を呪う。。。

春男とアイスクリーム

春男といると自分を呪ってばかりいるような気さえしてくる。これは冗談でもなく、最近、本気で思い始めたことだった。この日もそうだった。

なんで、オレはここにいるのだろう。

「おいしいか、それ。」

「ああ、うまい。」

確かに、味は悪くない。どちらかといえば、おいしい。しかし、何が楽しくて、男二人向き合ってアイスクリームを食べなきゃいけないのか！オレはため息をついて、自分を呪った。

それは春男からのメールで始まった。

< 買い物が多いんだ。荷物持つのに付きあってくれ >

春男がもし、大作家で売れまくっていたら、絶対に家からでないで、電話で済ませて全部宅配させることだろう。しかし、実際にはそうではない。

印刷用の紙やら、インクやらを自分で買いに行くのだ。めつたに出ないので、重い物を一気に済ませるせいだ、だいぶ重い。紙も積もれば、かなりの重さになる。

そのことを、オレはよく知っていた。場所は仕事の帰りの途中なので、それくらいならと簡単に引き受けたのがまずかった。

待ち合わせ場所に春男は立っていた。たしかに、荷物は大量にあった。しかし……。

「だって、一人で食べたってつまらないじゃないか。」

そんな理由で向き合ってアイスクリーム！それも、周りの客は女の子だらけ。ぽつんぽつんと男がいても、大抵はカップルできている。つい最近、新しくオープンしたアイスクリーム屋に行くには、

よっぽど甘いものが好きで勇気のある人物か、彼女でもないところはないものだ。普通は！

店のほうも女の子をメインターゲットにしているのか、やけにかわいらしい。そんななかに男が二人で。オレはため息をつかずにはいられなかった。いくらおいしくても食べるスピードが落ちるというものだ。

「早く食べないと溶けるよ？」

春男はオレのカップを見ながら言った。コーンにして歩きながら帰れるような、買い物物の軽さではなかった。結局、この場で食べるしかないということになったのだ。

「ああ。」

オレは、ぼんやりと返事をした。

「頂戴。」

「ああ……って、おまえ、人の食うなよ！」

「いま、頂戴って言ったら、ああって返事したじゃないか！」

だからって、人のカップからアイスクリームを持っていくだろうか！

オレの声が大きかったのか、なにやら、制服姿の女の子たちがこつちを向いてなにやら言いながら笑っているよう思える。思い過ぎにならないのだが。たぶん、オレは正しい。絶対になにか言われているに違いない。だいたい、内容も推測できる。

そんな中にいるのに、全然気にせずにアイスを食べつつづけるこの男は、器が広いのか、よっぽど鈍いのか、あまりに周りを気にしなすぎなのか。

オレはなんだか、やっぱり自分を呪った。

「あー、うまかった。」

「そうだな。」

オレは春男の荷物の一つを持ちながら、歩いていった。たしかに、重い。しかし、それよりも自分の気持ちのほうに重いように感じられた。

春男からの夕食の誘いを珍しくオレは断って、立ち食い蕎麦屋に入った。なんとなく、そんな気分になったのだ。

次の日、会社で女の子たちが新しく出来たアイスクリーム屋について話していた。オレは絶対に、しらないふりを決めることにした。それと、昨日店であった人たち、全員に二度と会わないことを心から望んだことはいうまでもない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5561a/>

春男の頭の中 8

2010年11月10日02時36分発行